

非常時持ち出し品チェックリスト

災害時に困らないよう常備しておきましょう。

飲料水 一人一日3ℓが目安。 	医薬品 消毒薬・胃腸薬・脱脂綿・バンソウコウ・包帯・持病の薬。 	手袋(軍手) ガレキの撤去や救助に、厚手のものを用意。 	乾電池予備 ラジオや懐中電灯に使用するものを少し多めに。 
食料品 レトルト食品・缶詰・ビスケット・チョコレート等。 ※赤ちゃんのいる家庭は、粉ミルク・液体ミルク・ほ乳びん等も。 	貴重品 現金(小銭も)・預金通帳・印鑑・緊急時連絡簿・おくすり手帳等。 ※いざという時、すぐ持ち出せるように保管場所を決めておきましょう。 	ろうそく 濡れない様にビニール袋に入れて、保管する。 	衣類 雨具・下着・ジャンパー・タオル等。 
多機能ナイフ 複数の機能が搭載されたものが便利。 	ヘルメット・防災頭巾 飛来物や落下物から頭を保護するものをすぐに取り出せる所に。 	懐中電灯 夜間、すぐに手の届く場所に。 	毛布 寝袋や体温を逃がさないサバイバルシート等も重宝。 
マッチ・ライター 湿気やガス切れに注意。防水マッチも市販されている。キャンプに使われるファイアスターターも便利。 	感染症対策グッズ マスク・体温計・除菌シート等。 	多機能防災ラジオ 情報収集に欠かせない。懐中電灯と一体型や手回してスマホ充電機能付のものも便利。 	運動靴 避難する時に怪我を防止するために、すぐに取り出せる所に。 

避難時に注意すること

単独行動は危険なため、警察・消防・水防団の指示に従いましょう。

服装に注意

- 動きやすい服装にしましょう。
- 長靴は水が入ると動けなくなるため、運動靴等にしましょう。



家の戸締まりに注意

- 避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょ。
- 避難時の持ち出し品は必要最小限になるようまとめましょう。



荷物に注意

- 持ち出す荷物は最小限にしましょう。
- 避難時の荷物はリュック等に入れ、できるだけ両手が空くようにします。



状況の変化に注意

- 不安を感じたら早めに避難しましょう。
- 特に、高齢者・子ども・身体に障がいのある方がお住まいの世帯では、早めの避難が必要です。
- 避難のときは警察・消防・地元の防災責任者等の指示に従って行動しましょう。独断での行動は大変危険です。1人で行動せずに2人以上での行動を心がけましょう。
- 避難途中で危険を感じたら、自宅の2階以上や近所のビルに避難しましょう。内水氾濫で外に出ることが危険な場合は**垂直避難**をしましょう。



▲想定浸水深 ※ハザードマップで確認

身の回りの安全に注意

- 徒歩で避難しましょう。車を使つての避難はかえって危険です。
- 1人での夜間の避難は危険です。できるだけ明るいうちに避難しましょう。
- 浸水している場所の深さに注意しましょう。水深50cm以上になると歩行は困難になります。
- 浸水している場所を歩くときには、棒等でマンホールや側溝等に注意しましょう。
- 飛来物に注意しましょう。



問い合わせ先一覧

■気象関係

名称	電話番号
佐賀地方気象台(防災)	0952-32-7026

■行政関係

名称	電話番号
佐賀市役所	(代)0952-24-3151
// 三瀬支所	(代)0952-56-2111
// 富士支所	(代)0952-58-2111
// 大和支所	(代)0952-62-1111
// 諸富支所	(代)0952-47-2131
// 川副支所	(代)0952-45-1111
// 東与賀支所	(代)0952-45-1021
// 久保田支所	(代)0952-68-2111
佐賀県庁	(代)0952-24-2111
国土交通省 筑後川河川事務所	(代)0942-33-9131
国土交通省 佐賀河川事務所	(代)0952-41-8801

■災害病院

名称	電話番号
佐賀県医療センター好生館	0952-24-2171
佐賀大学医学部附属病院	0952-31-6511
国立病院機構佐賀病院	0952-30-7141

- 内水ハザードマップについて 佐賀市建設部 河川砂防課 (佐賀市上下水道局 雨水事業対策室) TEL 0952-40-7183
- (洪水・津波ハザードマップ) (佐賀市総務部 危機管理防災課 TEL 0952-40-7013)

■警察・消防

名称	電話番号	
佐賀県警察本部	0952-24-1111	
佐賀北警察署	0952-30-1911	
佐賀南警察署	0952-23-6110	
佐賀広域消防局 (0952-30-0111)	佐賀消防署	0952-33-6771
	北部消防署	0952-62-3442
	南部消防署	0952-45-6442

■ライフライン

名称	電話番号
(電話の故障に関することは)	
NTT西日本	局番なしの113 ひかり電話(IP電話サービス)・携帯電話からは0120-444-113
(電気のことは)	
九州電力佐賀営業所	0120-986-937
(上下水道のことは)	
佐賀市上下水道局	(代)0952-33-1313
佐賀東部水道企業団	(代)0952-30-6151
(ガスのことは)	
佐賀ガス株式会社	(代)0952-30-6161

平常時から確認しておくこと

普段から万が一の事態に備え準備しておきましょう。

家族で確認

- 自宅や職場が浸水想定区域内に入っているか確認しましょう。
- 浸水想定区域内の場合、その場所の浸水想定がどのくらいの深さなのか確認しましょう。
- 家族で避難時の行動について話し合っておきましょう。自分自身がとる行動「マイ・タイムライン」を作ってみましょう。
※マイ・タイムラインとは、大雨や台風といった気象予報で発生を予測できる災害について、自分が取るべき行動をあらかじめ時系列で決めたものです。



情報の確認

- 普段からテレビやラジオ、インターネットで、気象情報や災害情報に注意を払いましょう。
- 市からの情報に注意し、近所の方々と情報交換しましょう。



避難場所・避難経路の確認

- 災害時には自宅に一番近い避難所が使えない事態も考えられますので、近い避難所を2箇所以上確認しておきましょう。
- 自宅から避難所まで歩いてみて、周辺の土地が浸水した場合等、避難経路の周囲に側溝や水路等、危険な箇所がないか確認しておきましょう。



持ち出し品の確認

- 避難時の持ち出し品は、日頃から準備しておき、置き場所を決めておきましょう。
- 非常食や飲料水等は、定期的に新しいものと取替えましょう。ローリングストック※で備蓄すると便利です。
※普段の食事に利用する食材を多めに常備して、製造日の古いものから消費し、消費した分を新しく買い足し、いざというときのために備える方法 (飲料水の目安:1人1日3リットル)

